



清瀬の風



令和7年12月1日
清瀬市立清瀬小学校
校長 谷口 雄磨
学校だより12月号

「みられている」から「みせる」へ ～学習発表会～

4月から数えて八か月が経ち、様々な経験を通して子供たちが成長しています。先月行われた学習発表会もその一つで、子供たちの成長を促す貴重な機会となりました。

学校では、遠足や運動会などの行事を通して、子供たちが学年全体で行動する場面は年間複数回ありますが、「全員で動きを揃える機会」はそう多くはありません。もちろん朝会時の整列や「いただきます」の挨拶など、一時的に行動を揃える場面はありますが、学習発表会の演技のように、ある程度まとまった時間を、全員が「動き」や「気持ち」を揃えて行動することは殆どありません。

そのため学習発表会の練習では、互いの動きが揃わずに子供たちが苦勞している場面がよく見られました。どの学年もそうですが、演技中は、自分の動きをより良いものにするだけでなく、周囲の仲間とタイミングを合わせることが求められます。それも学年が上がるほど演技は複雑になっていくことは言うまでもありません。

ある日、高学年の子供たちが練習後に数人集まって話し合っている様子を見かけました。どうしたら揃うようになるのか互いの思いや感じていることを伝え合っていたようです。その後、試行錯誤を繰り返し、動きが揃った瞬間に大きな歓声を上げている姿がありました。そんな達成感に満たされた子供たちの表情を見ると、一人一人の「学び」がアップデートされているなど感じます。

開・閉会式でもお伝えした通り、本番までの練習では子供たちの目の前には誰一人の観客もいませんでした。そのため、彼らは自分の動きに集中し、次の動きを考えながら練習を重ねることができました。ところが、全校児童が互いに見合う児童鑑賞日には、目の前に多くの他学年の観客が現れます。子供たちの心の中で、「みられている」という意識が沸き起こってきました。緊張もあって、身体が上手く動きません。多くの子供たちが「いつもとは何か違う」と感じたことだろうと思います。誰かに「みられる」ことは、子供たちに大きな刺激を与えます。「みられる」ことで、「みられている自分」を意識し、自分が相手にどう映っているのかを考え始めます。自分を俯瞰して見ることに繋がっていくのです。これは、人が成長していく上で大切なことです。自分を客観視する経験が多くはない小学生にとって、とても貴重な経験となるのです。そして演技を終えた後に自分に降り注ぐたくさんの拍手が、彼らに達成感と自信を与えるのです。翌日は保護者鑑賞日で多くの大人が演技を観にきます。担任たちの激励の言葉に背中を押され、「もっと機敏に」「もっと揃えて」と、より高みを目指そうと彼らの士気は上がり、相手に「みせる」ことを意識し始めます。保護者・地域の皆様にご覧いただいた姿は、そんな彼らの集大成でした。

子供たちを成長させる要素は、時と場で変わります。子供たちを伸ばす教育が、教師からの働きかけだけではないことを改めて考えさせられます。「子供」を真ん中に置いた多方面からの「学びの支援」が学習発表会にはあり、彼らがグンと伸びる機会となりました。

小・中学校が連携した教育活動

- ① 知識や技能を確実に身に付け、活用できる児童・生徒
- ② 自他の生命や人権を尊重し、多様性を受け入れて判断・行動できる児童・生徒
- ③ 地域の一員としての自覚と責任をもち、地域へ働きかけることができる児童・生徒

清瀬小と清瀬第八小・清瀬中では、3つの「目指す児童・生徒像」を掲げて小・中連携教育を進めています。定期的に3校の教職員が集まり、「学力向上・命の教育推進・地域活動推進」の部会に分かれて、どのようにすると上記の児童・生徒を育てることができるのか議論し、実行に向けた具体的な計画を立てて取り組んでいます。



共通の連絡事項

・閉庁日について

12月27日(土)より冬季休業日となります。1月6日(火)まで学校閉庁日です。緊急の連絡は、下記へお願いいたします。

清瀬市教育委員会 教育指導課 電話：042-492-5111(清瀬市役所代表番号)

・3学期始業式について

日時：1月8日(木) 登校時刻は、通常通り8時10分～20分となります。遅れないように登校させてください。(早すぎる時刻に登校する児童も数名います。上記の時間に登校できるようご協力をお願いいたします。)

・校内書初め展について

3学期の学校公開日に合わせて校内書初め展を行います。期間は、1月20日(火)～22日(木)です。子供たちの作品をぜひご覧ください。

【確かな学力の向上、学びへの関心・意欲の醸成】

「自分に合った学び方を楽しく見つけてみよう」

何かを学ぶとき、そこにはいろいろな学び方があります。例として、漢字の学習を取り上げてみます。物的環境の面では、「読む」「書く」「反復する」「意味や成り立ちを理解する」「熟語や例文で覚える」これ以外にも、たくさん方法があります。

また、人的環境では、友達や先生、お家の人など、相手や場所、時間帯などを変えて学ぶ方法があります。

ある学びをする際に、いろんな学び方を知って試しにやってみることで、自分に合っている方法が見つかるかもしれません。

【豊かな心、しなやかで強かな心の育成】

2学期もいよいよ最後の月になりました。今月末には年末年始を挟んで冬休みが始まります。「冬休みの生活のきまり」は後日配布の資料を参考にしてください。

冬休みにはお年玉などで大きな額のお小遣いをもらう子供たちもいるかと思いますが、お金の管理の仕方や使い方等については、ご家庭でよく話し合っていたいただきますようお願いいたします。

日暮れの時刻が早くなってきました。夕刻チャイムは11月から1月は4時5分です。暗くなる前にお家に帰り、交通事故や不審者に遭わないよう声掛けをしていきます。

【運動習慣の確立、体力の向上】

12月15日(月)から「体力アップチャレンジカード」の取り組みが始まります。今回の「体力アップチャレンジカード」は西武線の路線図を基に作成しています。(西武鉄道さんより許可をいただきました。)カードを通して様々な運動に親しんでほしいと思います。

実施期間は、冬休みを挟み、1月30日までとしています。「冬休み中でもできる範囲で体を動かしてほしい」という思いから、この期間にしました。お家で気軽に取り組める項目もあるので、ぜひ積極的に体を動かしてみてください。

【読書活動の充実】

〇市立図書館による本の学校宅配について

本の予約をすると、金曜日の午前中に学校へ本が宅配されます。本には、返却期限が書かれた紙が挟まっていますが、必ず紙を抜いて返却していただければと思います。返却方法は、学校の返却ボックスまたは市立図書館へお願いします。返却期限が過ぎている本がある場合、市立図書館からご自宅へ連絡がきます。もし、学校に返却した後に電話がきたときには、学校に返却したことをお伝えください。よろしくお願いいたします。

【地域と連携した教育活動】

6年生の「総合的な学習の時間」では、地域や学校の中で、自分の長所を生かした探究的な活動に取り組んでいます。2学期は、清瀬市に参画するという視点で、地域のボランティア団体や自治会の方々からお話を聞いたり、ボランティア活動に参加させていただいたりしながら、学習を進めています。

【特別支援教育の充実】

本校では、教員が特別支援教育に関する研修を年に2回行っています。

先月のOJTでは、特別支援教育を受けた児童の卒業後の進路や将来(高校・就労)について研修しました。保護者の方に特別支援教育について説明する際にも、卒業後や将来の見通しについて、教員が理解をたうて話をし、疑問や不安に答えられることを目指しています。

【ICT】

冬休み中のタブレットの持ち帰りはいたしません。また、冬休み中の課題等は、各学年から詳しい連絡をいたしますので、そちらをご確認ください。